

様式6

令和6年度 学校関係者評価

No. 1

学校名 平佐東小学校

校長名

今屋 厚造

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)				
			評定(数値平均)		対策・改善点	評定(数値平均)		主な意見		
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	段階	人数		平均			段階	人数
			A	1	3.2	A		1	3.3	
			B	5		B		2		
			C			C				
D		D								
2	(1)	望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し努力している。	段階	人数	平均		段階	人数	平均	表面的には子供たちに問題があるとは思えない。
			A	1	3.2		A	1	3.3	
			B	5			B	2		
			C				C			
D		D								
3	(2)	子供たちは、楽しそうに生き生きと学校生活を送っている。	段階	人数	平均		段階	人数	平均	元気いっぱい活動している。
			A	1	3.0		A	2	3.7	
			B	4			B	1		
			C	1			C			
D		D								
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	段階	人数	平均		段階	人数	平均	問題があるとの説明がないのでBと評価。
			A	2	3.3		A	1	3.3	
			B	4			B	2		
			C				C			
D		D								
5	(3)	子供たちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意を払っている。	段階	人数	平均	安全点検や定期的に掃除をして日々安全かどうかを全職員で見ている。	段階	人数	平均	歩いての登校が少ない。
			A	3	3.5		A	1	3.3	
			B	3			B	2		
			C				C			
D		D								
6	(4)	教職員は、子供や保護者、地域との望ましい関係を築いている。	段階	人数	平均		段階	人数	平均	教職員一人ひとりの考え方や取り組み方まではわからない。
			A	1	3.0		A		3.0	
			B	4			B	3		
			C	1			C			
D		D								
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	段階	人数	平均		段階	人数	平均	
			A	1	3.2		A	3	4.0	
			B	5			B			
			C				C			
D		D								
8	(5)	学校の施設・設備は定期的に安全維持管理のための点検等がなされている。	段階	人数	平均	予算面もあるが、遊具なども老朽化が進んでいる。取り換えが何年も行われていない。	段階	人数	平均	
			A	4	3.5		A	2	3.7	
			B	1			B	1		
			C	1			C			
D		D								
9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	段階	人数	平均	体力テストのデータの分析を全体PTAで保護者と共有している。	段階	人数	平均	学力向上にもう少し改善点がある気がする。
			A	2	3.3		A		3.0	
			B	4			B	3		
			C				C			
D		D								
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	段階	人数	平均	家庭学習のチェックが家庭によって差がある。	段階	人数	平均	できる範囲で協力し合っている。
			A	1	3.0		A		3.0	
			B	4			B	3		
			C	1			C			
D		D								

学 校 名
平佐東小学校

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価(集約)			対策・改善点	学校関係者評価委員による評価(集約)			
			評価	人数	平均		評価	人数	平均	
11	(6)	小中一貫教育は、積極的に実践され、子供たちの姿として現れている。	A	1	2.8		A		2.7	
			B	3			B	2		
			C	2			C	1		
			D				D			
12	(6)	薩摩川内元気塾は、子供たちに夢や元気を与えてくれている。	A	2	3.0		A		2.3	活動そのものと効果については、わからない。
			B	2			B	1		
			C	2			C	2		
			D				D			
13	(6)	英語教育の推進について、小・中学校の特質を活かして充実が図られている。	A	3	3.5		A	1	3.0	評価する情報量がない。
			B	3			B	1		
			C				C	1		
			D				D			
14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。	A	2	3.2	言われてする子も多いが、自分から挨拶する子も少ないように感じる。	A	1	3	親は子供の前でできているのか。
			B	3			B	2		
			C	1			C			
			D				D			
15	(8)		A		#DIV/0!		A		#DIV/0!	
			B				B			
			C				C			
			D				D			
16	(8)		A		#DIV/0!		A		#DIV/0!	
			B				B			
			C				C			
			D				D			

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校教職員の評価を平均(小数第1位まで)

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校関係者評価委員の評価を平均(小数第1位まで)

＜学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策＞

- ・ 在校児童数の減少が課題である。地域の活性化のことも含め、例えば他校区からの児童が入学を希望するような魅力ある学校づくりを進めていく必要がある。(平佐東の住居の斡旋等は地域も協力する。いい物件もある)
- ・ 学習の方法などを保護者へ伝えるなどの努力をしてほしい。
- ・ 地域の核として学校の特色を生かした教育活動を展開してほしい。
- ・ 体力面の向上も図ってほしい。(縄跳びなどを取り入れればいいのでは)
- ・ 低学年の複式は大変だと思った。先生の負担も大きいと思う。
- ・ 「学校たのしーと」の結果をみて、「学習意欲」と「自己肯定感」を高めてほしい。
- ・ 各学校に訪問して学校ごとの取組が伝わってきた。様々な方との意見交換ができてよかった。いただいた意見を取り入れて学校運営協議会の活動に生かしていきたい。